

## 信濃美術館整備方針(素々案)

Ver. 2

	コンセプト	役割	機能	新美術館に関する基本戦略 (関連施設等)	
1	県民だれもが楽しみ、学べる 利用者の視点を重視した美術館	○交流の場	・子どもからお年寄りまで、だれもが気軽に楽しめる施設(こども広場、体験教室等の開放スペースなど) ・障がいを持つ方も楽しめるユニバーサルデザインの企画・施設 (アールブリュット展、手で触れる美術展など)	<b>☆利用者の視点を重視した施設整備</b>	
		○学びの場	・県民が気軽に創作活動や発表に使える施設(県民ギャラリー)		・子どもの遊び場、託児室
			・小中学生の美術教室、生涯学習の講座、ドーセントの養成		・県民ギャラリー ・ホール
			・高等学校、大学との連携。図書室、学習室の設置(様々な分野の知識を得られる)		・講義室、講座室 ・ラウンジ
○憩いの場	・美術に関心のない人も来館したくなるカフェ、レストラン、ミュージアムショップ、公園・広場など ・クールシェア・ウォームシェアスポット	・図書室、学習室 ・カフェ、レストラン ・ショップ			
2	「芸術家」や「学芸員」がつどい つながる美術館	○文化芸術活動の支援・協働の拠点	・県ゆかりの若手芸術家(next等)の発表の機会や創作活動の場の提供	<b>☆芸術家・学芸員の育成</b> <b>☆美術館ネットワークづくり</b>	
			・アーティスト・イン・レジデンス等による芸術家育成の拠点		
			・文化芸術活動を活性化するため、県民や芸術家等が協働する拠点		
		○美術館ネットワークの拠点	・県内外の美術館ネットワークの拠点 ・県内美術館の学芸員の資質向上(ファシリテーターの養成など)		・アトリエ ・研修室
○調査研究等の拠点	・文化芸術に関する国内外の最新情報や、文献資料の収集、データベースの整備 (文化芸術のリサーチセンター・プラットフォーム) ・学芸員の専門性を深め、かつ自主企画や共同企画に資する調査研究	・リサーチセンター、研究室			
3	国宝・善光寺や城山公園と一体 となり、文化的ゾーンを創出する 美術館	○文化的ゾーンのシンボル	・東山魁夷館及び周辺の施設や環境と調和し、大きな集客力を持つ芸術作品としての建築物	<b>☆集客力のある美術館</b> <b>☆文化的ゾーンとしてのグランドデザイン</b> <b>☆本館の保存・活用、東山館との調和</b>	
			・信州の観光の拠点(周辺での観光フェア等の開催)		
			・文化芸術による「まち」のにぎわいの創出(善光寺門前エリア)		
		○文化的ゾーンの一体感の創出	・善光寺や城山公園等周辺と一体化した景観形成・街づくり ・善光寺や周辺施設との連続性や観光客の回遊性を創出		・建物 ・庭園 ・回遊路 ・駐車場
○信州のおもてなしの拠点(迎賓館)	・信州の文化芸術を堪能できる「信州の応接間」 ・国内外からの来客のおもてなしの場	・ラウンジ ・設計者 ・設計方針 ・発注方法			
4	長野県の文化芸術の拠点として 「信州の文化芸術」を国内外に 発信する美術館	○文化芸術の拠点にふさわしい展示	・信州ゆかりの作品(池田満寿夫コレクション、県内書家の作品など)の常設展示	<b>☆美術品収集方針(コレクションポリシー)</b>	
			・全国レベルの企画展や国内外の著名美術館(ボストン美術館、国立美術館など)とのコラボ展の開催		
			・県が支援する若手芸術家の作品(現代美術等)の収集・展示		・常設展示室
		○質の高いコレクション等の収集・保存	・世界的な視点や先見性を持った作品のコレクション整備		・企画展示室
			・作品を適切に保存でき、中長期的に見て対応可能な広さを持つ収蔵庫		・収蔵庫(前室、点検室、荷解室等)
			・国宝、重要文化財等の展示が可能な施設(公開承認施設)		・搬入施設(トラックヤード、一時保管庫等)
○文化芸術に関する情報の管理、発信	・緊急時における他館の美術品のレスキューやシェルターの機能	・資料室			
	・長野県の文化芸術情報のアーカイブの構築、発信	・情報処理室、スタジオ			
	・県内美術館の収蔵品や県ゆかりの作家に関する情報の整理、活用				
			・国際化に対応した多言語による文化芸術情報の発信		